



男子ソフトテニス部 (Soft Tennis Club)

～練習風景～

男子ソフトテニス部は、部員6人(1年生:2人、2年生:4人)で、キャプテンの古川大翔さん(2年生)を中心に毎日練習に励んでいます。



部のスタンスは「当たり前前を当たり前にするように」と話す顧問の久富貴史先生。勝ち負けの前に、部活動を通して人として成長してほしいとの思いで指導にあたります。

練習は、ゲームを作る基本であり、打点までしっかりと体を動かす基礎練習である『ストローク練習』から始まり、スマッシュやネット際でのボレー練習をこなします。続いて前衛、後衛に分かれての練習や実戦・ゲーム形式の練習で技術向上に努めます。

今年の高校総体佐賀県大会の団体戦では、3回戦で惜しくも敗退しましたがベスト8に入賞。現在は佐賀県総合グラウンドで開催される夏季大会に向けて、それぞれ練習に励みます。



★期待のルーキー★ (左から)

岩宗一堂さん:「中学一年生より続けています。速いボールのレシーブが苦手なので克服して試合で活躍します!!」

小園祐大さん:「今年の7月より入部しました。まずはしっかり打ち返すことができるのが目標です」



▲ボレー練習の様子。

取材当日は引退した3年生(吉岡冬弥さん)も参加し、後輩の指導にあたっていました。

「練習×二ユーの構成や、調整など苦労はありますが、やりがいもあります。夏季大会で上位入賞を目指します」



▲キャプテンの古川大翔さん

機械技術科、電気システム科、自動車工学科、建築技術設計科、木工芸デザイン科5つの学科に分かれて、最新の工業技術を学びました。



佐賀県立産業技術学院と多久高の初の連携事業実施!!

8月11日・12日の2日間、佐賀県立産業技術学院で、同学院と多久高との初の連携事業が実施され、2年生と3年生の希望者12人と東福昌勝教諭が、



生徒を激励する島本教頭

今回の事業は「ものづくりの楽しさと奥深さを学んでほしい」と織田良範学院長が企画。生徒引率の島本克己教頭は「学校ではできない最新の技術に触れ、生徒たちの刺激になると思う」と期待を込めて生徒たちを激励しました。

2年生の川原田海斗さんは「学校では学べない、自動車工学に興味をもちました」と2日間の研修を振り返りました。

『基本動作』から始まり、抑え込みなど『固め技』、投げ技の役割を決めて練習する『約束練習』、実践形式の『自由練習』で試合に備え、日々練習に励んでいます。今年の高校総体では、松尾俊輝さん(1年生)が73kg級でベスト8に入賞。7月に福岡市にて開催された『金鷲旗高校柔道大会』では、惜しくも一回戦敗退となりましたが、少人数ながら健闘しました。



柔道部

柔道部は、部員8人(1年:1人、2年:4人、3年:3人)。「一本が取れる技を磨いてほしい」と語る顧問の安藤優先生。練習×二ユー

固め技の乱取り練習の様子。主将の古賀さんの指導にも熱が入ります。



主将の古賀さん柔道は高校から始めました。警察官になるのが夢で「一戦でも多く勝ちたいとの心持ちで頑張っています」と決意を語ります。



▲顧問の安藤先生の指導を受けながら、しっかり練習に励む松尾さん